

## 床の耐動荷重性を考える

前編

日本床施工技術研究協議会第19回公開セミナーより

近年、流通施設における貨物の大容量化やAGVの頻繁な走行、また病院等での手術台や病床の高機能化に伴う荷重増大などで、車輪走行による床の損傷が問題となるケースが増加している。

そうした中で、床および床施工に関する学術・技術の情報発信と正しい情報の普及を目指し活動する団体、日本床施工技術研究協議会(横山裕会長)が昨年11月26日、第19回公開セミナー「床の耐動荷重性を考える」を開催した。当日は研究者、ゼネコン関係者をはじめ、施工会社、材料メーカーなどから約110名の参加者があり、会場は活況となった。

同セミナーでは、各種床仕上げにおける耐動荷重への対応の現状や不具合抑止に向けた課題などが議論された。

ここでは、当日の講演内容をダイジェストにし、前後半に分けて紹介する。 編集部

## 1. 開会挨拶

日本床施工技術研究協議会

会長(東京科学大学教授) 横山 裕 … 36

## 2. 主題解説

日本床施工技術研究協議会

副会長(東海大学教授) 横井 健 … 36

## 3. 塗り床、張り床の耐動荷重に関する研究動向

東京科学大学 環境・社会理工学院建築学系

助教 藤井 佑太朗 … 38

## 4. 耐動荷重性の高い床を実現する為の床コンクリート施工

(一社)日本土間業組合連合会

監事 楠根 進 … 42

以下後編

## 5. 張り床材の耐移動過重性について

(一社)日本インテリア協会

(田島ルーフィング(株)) 佐藤 弘和

## 6. 塗り床の耐動荷重性の現状と向上に向けた取り組み

日本塗り床工業会

技術委員長(住友ゴム工業(株)) 羽嶋 宏治

## 7. 表面強化材を施したコンクリートスラブの耐摩耗性に関する研究

芝浦工業大学 建築学部建築学科

教授 古賀 純子